



## 2019年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月7日

上場会社名 株式会社 ティア  
 コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 富安 徳久

(氏名) 辻 耕平

TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	3,266	8.2	461	17.6	451	15.9	308	16.3
2018年9月期第1四半期	3,019		392		390		264	

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 308百万円 (16.3%) 2018年9月期第1四半期 264百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	14.93	
2018年9月期第1四半期	13.14	

(注) 2017年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	13,083	8,446	64.6
2018年9月期	11,958	6,984	58.4

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 8,446百万円 2018年9月期 6,984百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		5.00		5.00	10.00
2019年9月期					
2019年9月期(予想)		5.00		6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,615	4.6	810	7.6	780	10.3	525	11.5	23.64
通期	12,885	4.7	1,100	16.9	1,060	18.5	700	21.9	31.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	22,209,700 株	2018年9月期	20,209,700 株
期末自己株式数	2019年9月期1Q	1,470 株	2018年9月期	1,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	20,643,012 株	2018年9月期1Q	20,165,730 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や業況感の改善による設備投資の拡大に加え、雇用の増加や賃金の上昇を背景とする労働市場の改善等により、緩やかな拡大基調となりました。また、海外経済の着実な成長を背景とする輸出の増加等により、今後も景気の拡大基調は持続するものとみられておりますが、米中間の貿易摩擦と海外経済に及ぼす影響等、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましても、前年同期と比較し葬儀件数は増加する一方、葬儀単価は低下しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現とその後の持続的な成長を目指すべく「オンリーワンブランド“ティア”」のスローガンのもと、2021年9月期を最終年度とする中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。新規出店の状況につきましては、直営は名古屋市内に「ティア猪高」を開設し、また東京都内向けの出店モデルであります葬儀相談サロンとして「ティア根津」を開設いたしました。これにより直営59店舗、フランチャイズ45店舗の合計104店舗となりました。売上原価におきましては、労務費が増加したものの、商品内容の見直しや葬儀付帯業務の内製化を推進し、経費面では中長期の出店を見据えた人材の確保や、積極的な販売促進の実施に伴う広告宣伝費等が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は32億66百万円（前年同期比8.2%増）となり、売上原価率は前年同期と比べ1.8ポイント低下し、販売費及び一般管理費は前年同期比10.8%増となりました。これにより、営業利益は4億61百万円（同17.6%増）、経常利益では4億51百万円（同15.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億8百万円（同16.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 葬祭事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、既存店の件数が増加したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比8.5%増の2,705件となりました。葬儀単価におきましては、祭壇単価が上昇したものの葬儀付帯品や供花売上等の単価が低下し、前年同期比0.4%減となりました。この結果、売上高は31億73百万円（同8.5%増）、営業利益は6億73百万円（同15.7%増）となりました。

#### (b) フランチャイズ事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ2店舗増加したものの、料率変更に伴うロイヤリティ収入の減少に加え、前年同期に販売したフランチャイズ会館向け物品売上の反動減により、売上高は93百万円（同3.0%減）、営業利益は18百万円（同16.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は39億円となり、前連結会計年度末に比べ11億47百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が10億90百万円、売掛金が56百万円増加したことによるものであります。固定資産は91億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が75百万円増加したものの、投資その他の資産が99百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、130億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は21億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億66百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が1億80百万円増加したものの、未払法人税等が1億97百万円、その他の流動負債が1億84百万円減少したことによるものであります。固定負債は24億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が66百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、46億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億36百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は84億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億61百万円増加いたしました。これは主に公募による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6億27百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月8日に公表いたしました、「連結業績予想」「配当予想」に変更はございません。

連結業績予想の前提条件としましては、葬祭事業は、既存会館が堅調に推移する見通しなのに加え、新規出店の稼働による増収効果を見込んでおります。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うと共に、会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では取扱商品の見直しや、葬儀付帯業務の内製化等の商品原価率の低減を推進する一方で、新規出店の加速に伴う会館開設費用、積極的な新卒採用に伴う人件費、人材教育施設開設に伴う設備投資、ウェブマーケティング強化に伴う広告宣伝費、基幹システム改修に伴う修繕費等の増加を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,125	3,215
売掛金	385	442
商品	53	59
貯蔵品	49	48
その他	143	140
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	2,752	3,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,590	5,594
土地	1,488	1,488
その他(純額)	650	720
有形固定資産合計	7,728	7,803
無形固定資産	114	116
投資その他の資産		
差入保証金	915	889
その他	450	376
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,363	1,263
固定資産合計	9,206	9,183
資産合計	11,958	13,083
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	352	387
短期借入金	70	250
1年内返済予定の長期借入金	710	675
未払法人税等	291	93
賞与引当金	140	74
その他	869	684
流動負債合計	2,432	2,166
固定負債		
長期借入金	1,531	1,465
資産除去債務	563	567
その他	445	438
固定負債合計	2,540	2,470
負債合計	4,973	4,637
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,184	1,811
資本剰余金	817	1,445
利益剰余金	4,983	5,190
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,984	8,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	6,984	8,446
負債純資産合計	11,958	13,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	3,019	3,266
売上原価	1,836	1,928
売上総利益	1,183	1,338
販売費及び一般管理費	791	876
営業利益	392	461
営業外収益		
受取利息	1	1
受取保険金	3	10
広告料収入	2	1
その他	2	2
営業外収益合計	9	16
営業外費用		
支払利息	9	8
株式交付費	—	17
その他	2	0
営業外費用合計	11	25
経常利益	390	451
税金等調整前四半期純利益	390	451
法人税、住民税及び事業税	88	75
法人税等調整額	36	68
法人税等合計	125	143
四半期純利益	264	308
親会社株主に帰属する四半期純利益	264	308

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	264	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	264	308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264	308
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2018年12月12日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ627百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,811百万円、資本剰余金が1,445百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,923	96	3,019	—	3,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,923	96	3,019	—	3,019
セグメント利益	582	21	604	△211	392

(注) 1. セグメント利益の調整額△211百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,173	93	3,266	—	3,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	3,173	93	3,266	△0	3,266
セグメント利益	673	18	691	△230	461

(注) 1. セグメント利益の調整額△230百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△230百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。